

石狩川流域の氾濫や美唄川などの水域の水害は昔から大きな被害をもたらしてきました。



平成20年8月現在 ②

昭和56年8月 産化美唄川流域の冠水状況 美唄市中村農場付近(美唄市蔵) ①
(石狩川流域発展の礎・治水より)



昭和56年8月 産化美唄川左岸7号線橋上流(石狩川流域発展の礎・治水より) ③



昭和41年8月 美唄川の氾濫による浸水(石狩川流域発展の礎・治水より) ④



昭和41年8月 美唄市の避難状況(石狩川流域発展の礎・治水より) ⑤

美唄市の主な水害、治水

昭和	西暦	美唄市の主な水害、治水
明治19	1886	福島磯次郎が市来知村(現三笠市)から美唄川岸に移住、渡し守を開業。
昭23	1890	空知郡沼貝村誕生(大正15年美唄町に改称)
昭31	1898	9月、台風の影響により石狩川・美唄川が大洪水、沼貝村で被害。 「北海道治水調査会」「石狩川治水期成会」設立。
昭37	1904	7月、台風と前線の影響により石狩川・美唄川が氾濫(329戸浸水など)
昭38	1905	7月、降雨のため村内各河川氾濫(床上浸水475戸など)
昭43	1910	石狩川治水事業を開始。
大正9	1920	8月、大洪水、美唄山形方面全滅の状態。
大10	1921	美唄川新水路着工。(当時は美唄川石狩川連絡排水路)
大11	1922	8月、台風の影響により全道に被害(犠牲者117名、流出家屋872戸など) 空知地方で、沼貝(美唄)・北村・岩見沢・月形などを中心に被害発生 (家屋浸水5,179戸、農作物被害約22,659haなど)
大14	1925	美唄川新水路竣工。(分離された美唄川は「旧美唄川」となる)
大15	1926	6月、沼貝町を美唄町と改称。
昭07	1932	9月、低気圧と前線の影響により石狩川沿岸一帯が10数カ所にわたって決壊。 (美唄全域:約8,300ha浸水、浸水家屋1,227戸、流失47戸)
昭18	1943	9月、大雨により美唄川各所で氾濫。(美唄:死傷者30名、流出家屋58戸など)
昭25	1950	市制施行により美唄市となる。
昭29	1954	9月、台風15号の強風により全市にわたり被害。 (美唄:死傷者51名、農作物被害約3,694ha)
昭30	1955	4月、降雪と融雪により石狩川沿岸の中村、元村、大富地区が甚大な被害。
昭31	1956	4月、融雪水により石狩川沿岸地区が水害。
昭34	1959	9月、4日間続いた集中豪雨で市内にも大きな被害がでる。
昭36	1961	7月、低気圧、前線による集中豪雨により石狩川、美唄川をはじめ各河川が氾濫し大被害。
昭37	1962	8月、前線と台風9号の影響により石狩川の堤防決壊や美唄川の逆流などを生じ、 美唄市街南西部一帯、上美唄、中村、大富地区に浸水被害。 (床上浸水638戸、田畑冠水4,842haなど)
昭41	1966	8月、集中豪雨により旧美唄川流域で洪水氾濫し大きな被害。 (美唄市:犠牲者2人、床上浸水645世帯など)
昭50	1975	8月、前線と台風6号の影響により集中豪雨により石狩川氾濫。 (石狩川の太曲左岸築堤で延長約2,000mで溢水し2か所で破堤) (旧美唄川の支川の第二幹川等で越水・破堤) (石狩川流域:犠牲者9人、家屋浸水20,829ha、農作物被害47,966haなど) (美唄市被害:田畑2,927ha床上浸水315戸など) 石狩川、旧美唄川など10河川「激甚災害対策特別緊急事業」採択(わが国初)
昭56	1981	8月上旬、前線と台風などの影響により石狩川洪水史上最大の洪水が発生。 産化美唄川の堤防決壊がするなど水害になる。 (美唄市:床上浸水234世帯、田畑被害約6,400haなど) (石狩川流域:犠牲者2人、被害家屋22,550戸、農作物被害89,370haなど)
昭57	1982	美唄ダム完成。
昭63	1988	8月、集中豪雨で奔美唄川やヒバイクシユンベツ川があふれ、田畑に被害。
平成13	2001	9月、石狩川流域で大雨(昭和50年洪水とほぼ同規模の降雨ながら最小限の被害)

参考資料:「美唄市百年史」「美唄市庁(資料・美唄市統計書)」「炭鉱の記憶」「美唄市の歴史(空知総合振興局)」「幾春別川新水路事業の記録」「河川整備計画」